

研修ニュース



〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp

研修講座 外国人児童生徒教育②

「キャリア教育を見据えた日本語指導とは～やさしい日本語の視点で～」

【講師】 伊賀市外国人児童生徒日本語指導コーディネーター 船見 和秀先生

7月29日（月）、講師に伊賀市外国人児童生徒日本語指導コーディネーターの船見和秀先生をお迎えし、研修講座「外国人児童生徒教育②」を実施しました。

初めに、日本語初級レベルで来日した6年生児童のケースをもとにして、日本語指導に臨む際の留意点についてご指導いただきました。教科学習の中で身近な言葉や、簡単な日本語だけでなく教科用語についても習得させていく学習することが大切であることを学びました。



次に、グループに分かれて、「バイトゲットすごろくを作ろう！」と題してすごろくのゲームを作る演習を行いました。アルバイトにつくためには、どのような知識・日本語・社会性などを身に付けないといけないかについて当事者の立場になって考えることができました。

進路指導に向けた取組についての話では、進路相談や面談等において保護者・児童生徒本人に対して進路への意識づけと情報提供を小学校段階から始めること、保護者と児童生徒本人の本音にギャップがないか十分な話し合いをもとに確認することなどわれわれ教職員が意識すべき点についてご指導いただきました。

最後に、やさしい日本語で教科学習支援を行うポイントについて、「みえこさんのほんご」にも出てくる基本文型に教科用語を当てはめる演習を行いました。演習を通して、日頃の授業においてもやさしい日本語で話すことで外国につながる子どものみならず、すべての子どもたちにもわかりやすくなることを改めて考えることができました。



アンケートより【一部抜粋】

・今回の研修を通して、外国人児童生徒の将来に対して見通しを持って、支援をしていくことがどれだけ大切か学ばせていただきました。特に外国につながるある児童生徒及び保護者は情報不足ということでそもそも知らなければ聞いたり、調べたりすることもできないので、そのような状況を作らないように支援していくことが重要であると感じました。(小)

・指導者として外国人児童生徒に責任を持って正しく伝える意識を持つことが大切だと思いました。はさみの法則や3文クッキングの活用で分かりやすく日本語を伝えられたらいいなと思います。誰もが気持ちよく日本で住んでいけるように伝える側が勉強していくべきだと思いました。(中)